

『高松市病院事業経営健全化計画(平成24年度～26年度)』の取組状況 に係る高松市立病院を良くする会の評価結果報告書【平成26年度の評価】

平成27年11月4日
高松市立病院を良くする会
会長 谷田 一久

1 高松市立病院を良くする会

高松市立病院を良くする会は、医療の質、透明性及び効率性の向上並びに病院事業の経営健全化を図ることにより、市民を支え、市民のための病院の実現に資することを目的として、主に「高松市病院事業経営健全化計画（以下「経営健全化計画」という。）」の策定、見直し及び進捗状況の評価を行う外部評価組織として平成23年6月に設置され、今年で3期5年目を迎える。

平成26年度の経営健全化計画の取組状況について、今年度2回（7月、11月）にかけて議論し、次のとおり取りまとめたので報告する。

2 評価結果の総括

平成24年3月に策定した経営健全化計画（24年度～26年度）に定める、高松市立病院の基本理念『生きる力を応援します』の実現に向けて、高松市民病院は「急性期病院としての医療機能の充実」を、塩江分院は「地域まるごと医療の実践」を、香川診療所は「住民参加型医療の提供」を、基本的な考え方として、「医療の質・透明性・効率性」の向上に取り組んでいる。

今回の評価対象となる平成26年度は、経営健全化計画の最終年度であり、評価項目52項目中、50項目、実に96%で「順調」又は「概ね順調」という結果になっており、これまでに取り組んできた努力が実を結び、一定の成果があったものの、企業会計基準の見直しに伴う退職給付引当金の一括計上等が影響したため、26年度の病院事業の純損益は大きく赤字となった。また、退職給付引当金を除く経常収支においては、市民病院が、全国的な患者数の減少傾向や周辺医療機関の施設整備等の影響により入院患者数が減少し、昨年度の黒字から赤字になったものの、塩江分院と香川診療所は、昨年度に引き続き黒字となったことは、一定の評価をしたい。

しかしながら、病院運営の最重要課題の一つである高松市民病院の医師確保機能の強化については、努力は認められるものの、十分な成果が上がっておらず、新病院の開院に向け、これまでの取り組みの強化とともに、市と一体となった新たな施策を検討する必要がある。

また、災害発生時の地域医療は、自治体病院として担うべき役割を踏まえ、引き続きDMA Tの指定・編成に向けた取り組み等を継続するように求める。

今後とも、市民を支え、市民のための病院の実現に向けて、一層の努力を期待したい。

3 評価結果

(1) 評価基準

経営健全化計画に基づき、平成26年度に取り組んだ事項について、次の基準により評価を行った。

評価基準		評価の考え方
評価	区分	
◎	計画どおり順調である。	目標を達成した、または目標達成と同程度の具体的成果が得られた。
○	概ね順調である。	目標達成のための取組みを進め、年度末(一定期間経過後)に、目標達成と同程度の具体的成果が得られることが見込まれる。
△	やや遅れている。	目標達成のための取組みが不十分または、取組みを進めるものの、年度末(一定期間経過後)に、成果が得られる見込みが少ない。
×	かなり遅れている。	消極的または、目標達成のための取組みができていない。

(2) 病院・診療所の評価結果

① 高松市民病院

経営健全化計画に係る取組状況については、20項目のうち、『◎(計画どおり順調である)』と評価した項目は2項目、『○(概ね順調である)』と評価した項目は15項目、『△(やや遅れている)』と評価した項目は3項目、『×(かなり遅れている)』と評価した項目は無しとなり、『順調である』、『概ね順調である』と評価した割合が全体で85%となった。

全体としての総合評価は『○(概ね順調である)』とした。

患者への信頼を高めるために、各職種による指導や相談事業が行われており、特に、「私のカルテ」の事業は素晴らしく、患者との信頼関係を構築しており、一層の推進が求められる。また、地域医療連携においては、地域の医療機関との連携強化により、紹介率・逆紹介率が向上し、地域医療支援病院の承認を得たことは大きく評価したい。

しかしながら、医師確保機能の強化については、努力が認められるものの、前年度から進展が見られず、新病院の開院に向け、これまでの取り組みの強化とともに、市と一体となった新たな施策を検討する必要がある。また、看護師の人材確保のため、中堅・ベテランの職員の離職を防止する対策が求められるほか、院内誘導表示の改修については、院内全体を表示したパンフレット等を作成するなど、新たな取り組みを実行されたい。

取組項目ごとの各委員評価・意見等は別紙「総括評価表」に記載のとおりである。

ア 評価ごとの項目数

評価区分	H26	
	項目数	構成割合
評価結果『◎』とした項目	2項目	10%
評価結果『○』とした項目	17項目	75%
評価結果『△』とした項目	1項目	15%
評価結果『×』とした項目	0項目	—
合計	20項目	

イ 取組項目ごとの評価

具体的施策	H26 総括 評価	H25 総括 評価	H24 総括 評価
取組項目(大分類)			
取組項目(小分類)			
1 医療の質の確保			
1 医療技術			
1 高松市医療全体の最適化を目指した役割の強化	○	○	○
2 医師確保機能の強化	○	△	○
3 医師の安定確保に向けた条件整備	○	○	△
4 看護師、コメディカル職員等医療人材の確保機能の強化	○	○	△
5 スペシャリストの育成	○	○	○
6 医療安全	○	◎	○
7 医療品質	○	○	△
8 災害医療	○	◎	△
9 感染症医療	○	○	△
2 人間関係			
1 チーム医療体制の充実	○	△	△
2 患者のQOLを高めるための各職種による指導・活動の推進	◎	◎	○
3 患者と病院の信頼関係の構築	○	○	△
3 アメニティ			
1 患者の視点に立ったサービスの提供	○	△	△
2 各種病院サービスにおける利便性の向上	○	○	×
3 施設環境の整備	△	△	△
4 地域社会			
1 地域医療連携の強化	◎	◎	◎
2 医療の透明性の確保			
1 情報の積極的な発信			
1 情報の積極的な発信	○	○	○
3 医療の効率性の確保			
1 効率化			
1 効率化	○	○	○
2 管理体制			
1 管理体制	○	△	△
3 一体化			
1 一体化	○	△	△
総合評価	○	○	○

(2) 病院・診療所の評価結果

② 塩江分院

経営健全化計画に係る取組状況については、17項目のうち、『◎(計画どおり順調である)』と評価した項目は10項目、『○(概ね順調である)』と評価した項目は7項目、『△(やや遅れている)』と評価した項目及び『×(かなり遅れている)』と評価した項目は無しとなり、『順調である』、『概ね順調である』と評価した割合が全体で100%となった。

全体としての総合評価は『◎(計画どおり順調である)』とした。

塩江地域唯一の医療機関としての責任を果たすため、医師、看護師が24時間・365日体制で患者の在宅療養を支援する「在宅療養支援病院」として、多職種による訪問診療、訪問看護等を通じて、「地域まるごと医療」を実践していることを評価する。

医療の質と効率性をより一層向上させるため、さらなる取り組み強化を期待したい。

取組項目ごとの各委員評価・意見等は別紙「総括評価表」に記載のとおりである。

ア 評価ごとの項目数

評価区分	H26	
	項目数	構成割合
評価結果『◎』とした項目	10項目	59%
評価結果『○』とした項目	7項目	41%
評価結果『△』とした項目	0項目	—
評価結果『×』とした項目	0項目	—
合計	17項目	

イ 取組項目ごとの評価

具体的施策	H26 総括 評価	H25 総括 評価	H24 総括 評価
取組項目(大分類)			
取組項目(小分類)			
1 医療の質の確保			
1 医療技術			
1 地域医療の推進	◎	◎	◎
2 医師確保機能の強化	◎	◎	◎
3 医師の安定確保に向けた条件整備	◎	◎	◎
4 スペシャリストの育成	○	○	○
5 医療安全	○	◎	◎
6 医療品質	◎	○	○
7 災害医療	○	○	×
2 人間関係			
1 チーム医療体制の充実	◎	◎	○
2 患者のQOLを高めるための各職種による指導・活動の推進	◎	◎	◎
3 患者と病院の信頼関係の構築	◎	○	○
3 アメニティ			
1 患者の視点に立ったサービスの提供	◎	◎	○
2 施設環境の整備	○	○	×
4 地域社会			
1 共に支え合う体制の整備	○	○	○
2 医療の透明性の確保			
1 情報の積極的な発信			
1 情報の積極的な発信	◎	◎	◎
3 医療の効率性の確保			
1 効率化			
1 効率化	○	○	×
2 管理体制			
1 管理体制	○		
3 一体化			
1 一体化	◎	◎	◎
総合評価	◎	◎	○

(2) 病院・診療所の評価結果

③ 香川診療所

経営健全化計画に係る取組状況については、15項目のうち、『◎(計画どおり順調である)』と評価した項目は9項目、『○(概ね順調である)』と評価した項目は5項目、『△(やや遅れている)』と評価した項目は1項目、『×(かなり遅れている)』と評価した項目は無しとなり、『順調である』、『概ね順調である』と評価した割合が全体で93%となった。

全体としての総合評価は『◎(計画どおり順調である)』とした。

これまでの診療に加え、地域包括ケアを見据えた健康教室や出張講座の実施、患者との診療情報の共有を図る「わたしのかるて」の積極的な発行、わんコイン健診の推進、経営会議への地域住民の参加等、住民参加型医療の実践に取り組んでいることを評価する。

ただし、災害医療等において、さらなる改善を期待する。

取組項目ごとの各委員評価・意見等は別紙「総括評価表」に記載のとおりである。

ア 評価ごとの項目数

評価区分	H26	
	項目数	構成割合
評価結果『◎』とした項目	9項目	60%
評価結果『○』とした項目	5項目	33%
評価結果『△』とした項目	1項目	7%
評価結果『×』とした項目	0項目	—
合計	15項目	

イ 取組項目ごとの評価

具体的施策	H26 総括 評価	H25 総括 評価	H24 総括 評価
取組項目(大分類)			
取組項目(小分類)			
1 医療の質の確保			
1 医療技術			
1 地域に密着した医療の提供	◎	◎	○
2 医師確保機能の強化	○	○	△
3 医師の安定確保に向けた条件整備	○	○	△
4 医療安全	○	○	△
5 医療品質	○	○	△
6 災害医療	△	△	×
2 人間関係			
1 患者のQOLを高めるための各職種による指導・活動の推進	◎	○	○
2 患者と診療所の信頼関係の構築	◎	◎	○
3 アメニティ			
1 患者の視点に立ったサービスの提供	◎	△	◎
4 地域社会			
1 住民参加の医療	◎	◎	○
2 地域医療連携の強化	◎	◎	○
3 子供たちの健やかな成長への貢献	◎	◎	○
2 医療の透明性の確保			
1 情報の積極的な発信			
1 情報の積極的な発信	◎	◎	○
3 医療の効率性の確保			
1 効率化			
1 効率化	◎	○	○
2 管理体制			
1 管理体制			
3 一体化			
1 一体化	○	○	△
総合評価	◎	◎	○